

みずほCustomer Desk Report 2017/11/14 号 (As of 2017/11/13)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	113.68
TKY 9:00AM	113.70	1.1661	132.55	0.9970	1.3118	0.7647
SYD-NY High	113.71	1.1675	132.62	0.9987	1.3194	0.7665
SYD-NY Low	113.25	1.1639	131.94	0.9937	1.3063	0.7617
NY 5:00 PM	113.62	1.1667	132.56	0.9962	1.3115	0.7625
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.555/7.905		Δ25RR	0.833	Yen Call Over	
NY DOW	23,439.70	17.49	債券市場		日本2年債	-0.1650
NASDAQ	6,757.60	6.66			日本10年債	0.0500
S&P	2,584.84	2.54			米国2年債	1.6808
日経平均	22,380.99	▲ 300.43			米国5年債	2.0749
TOPIX	1,783.49	▲ 16.95			米国10年債	2.4055
シカゴ日経先物	22,375.00	▲ 110.00			独10年債	0.4170
ロンドンFT	7,415.18	▲ 17.81			英10年債	1.3280
DAX	13,074.42	▲ 53.05			豪10年債	2.6230
ハンセン指数	29,182.18	61.26	為替市況		USD/CNH	6.6571
上海総合	3,447.84	15.16			ドルインデックス	94.51
USDJPY 3M Vol	8.26	0.08%	商品市況		CRB指数	191.448
USDJPY 6M Vol	8.85	0.02%			NY金	1,278.90
EURJPY 3M Vol	7.61	0.03%			WTI	56.76
EURJPY 6M Vol	8.63	▲ 0.03%			Dubai Spot	61.58

東京	東京時間のドル円は113.70レベルでオープン。日経平均株価が前営業日比マイナスで寄り付き200円超下落する展開となったものの、ドル円の反応は目立ったものとはならなかった。その後は特段の材料ない中、113.60台を中心とした狭いレンジでの推移が続いたが、引けにかけて日経平均株価が一段と下落幅を拡大するドル円は一時113.38まで下落。その後小幅に水準を戻し113.45レベルで海外へ渡った。また、40人の保守党議員がメイ首相に対する不信任表明の書簡への署名に同意したとの報道を受けて朝方にポンドは大幅下落する展開。対ドルで1.31台後半でシドニーオープンした後に大幅下落し1.1318レベルで東京時間オープン。一時1.3108まで下落した後は下げ止まったものの、1.31台前半での上値の重い推移が継続し、1.3122レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は売られる展開、113.45レベルでオープン。トランプ政権が目指す米税制改革法のクリスマスまでの成立には懐疑的な見方が多いことや、英国政治不安を背景としたポンド円の売りを受けて113.26まで下落した後、113.30レベルでニューヨークへ渡った。ポンド円は148.80レベルでオープン。ロンドン市場もアジア時間に続き英政局先行き不安からポンド売りが進み約3週間ぶりの安値148.04を付けた。保守党の党首選は、首相が退任を表明しない場合は、15%以上の保守党の下院議員48名が党首不信任の署名を非閣僚議員で構成される1922年委員会に提出することとなっている。メイ首相の後任適任者が与党の中に現在見当たらないため、首相退陣と与党内でなかなか進めていけないのではとの見方もあり、その後ポンドはやや水準を戻し、148.40レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.30レベルでオープン。海外市場の流れを引き継ぎ113.25まで下落したが、米大手企業による抜本的組織再編や減配発表を受けて寄り付き大幅安となった米株がすぐに切り替えプラス圏に浮上する動きを受けて、米金利・ドルも反発し、ドル円は113.67まで上昇。しかし、今週は重要指標の発表や要人発言を多く控えている上、税制改革の行方に関する手がかり待ちの状況の中、積極的に上値を追う展開には至らず。スライスで開催されたイベントで黒田日銀総裁が「2%の物価安定目標、実現にはなお距離がある」「今後とも強力な金融緩和を粘り強く続けていく」とコメントするも相場への影響は限定的。NY午後のドル円は113.60を挟んでのレンジ推移に終始し、113.62レベルでクロスした。なお、上院財政委員会スタッフが、「委員長による修正法案」が14日に公表される見込みと明らかにした。また、一部米政治専門紙が「トランプ大統領は16日に下院共和党と税制で協議」と報道した。一方、ユーロ・ドルは1.1654レベルでNYオープン。ドル下落や英政局不透明感からEUR/GBPが上昇する動きに連れ高となり、高値1.1675まで反発したが、その後は材料難のなか、1.1660-70近辺でのレンジ推移に終始し、1.1667レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・森谷

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
11月13日	07:00	豪 デベールBA総裁補 講演	-	-
	09:10	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
11月14日	02:45	日 黒田日銀総裁 講演	-	-

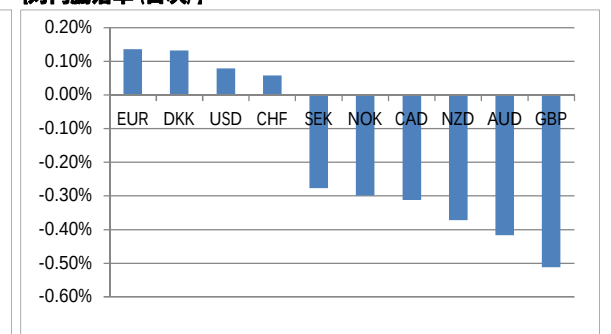
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
11月14日	09:30	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	10月 10.4%/7.3%/6.7%	10.4%/7.5%/6.7%
	16:00	独 GDP(前期比/前年比)・確報	第3Q 0.6%/2.3%	0.6%/2.1%
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.0%/1.6%	0.0%/1.6%
	17:05	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	10月 0.2%/3.1%	0.3%/3.0%
	19:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	9月 -0.6%/3.2%	1.4%/3.8%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	11月 88.0/1.5	87.0/17.6
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	第3Q 0.6%/2.5%	0.6%/2.5%
	19:00	欧 ECBパネル討論会(イエレンFRB議長、ドラギECB総裁等)	-	-
	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	10月 0.1%/2.3%	0.4%/2.6%
11月15日	03:05	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.00	1.1600-1.1700	132.00-133.00

[マーケットインプレッション]

昨日の海外市場は、日経の前日比大幅マイナス引けを受けて欧州株も軟調スタートの動きに加え、先週末の英紙によるメイ英首相退陣圧力高まるとの記事に英政局不安も浮上し、ポンド円を中心に円買いの様相で、ドル円も113.30近辺まで下落するも、米株・金利が軟調地合から反転を始める、113円半ばまで値を戻した。本日は、世界中央銀行総裁出席のECBカンファレンスが開催予定ではあるものの、新味ない発言に留まる可能性が高く、ドル円は狭いレンジでの推移を予想する。